

到達目標

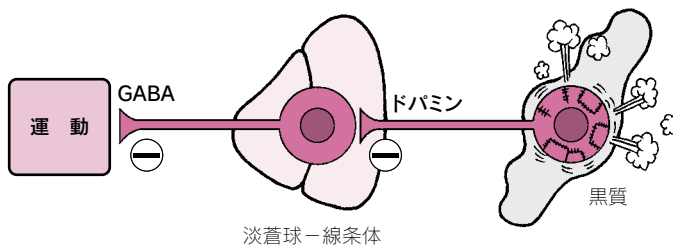
3

Parkinson 病の病態、症候と診断を説明できる。

Point

- Parkinson 病は、黒質の変性により、黒質線条体のドパミン作動性ニューロンの機能が低下し、振戦、固縮、無動をきたす神経変性疾患である。
- 病理学所見として黒質にLewy小体を認めることがある。
- 初発症状として振戦や固縮がまず一側に生じ、次第に両側性（“marching” といって順序立った進行をする）となっていく。
- 主要症状：安静時振戦（pill-rolling tremor）、固縮、無動（仮面様顔貌）、姿勢反射障害（前屈姿勢、すくみ足、加速歩行など）がみられる。
- 治療は対症療法のみである（L-ドパ、プロモクリプチン、アマンタジンなどの投与）。

図 52 Parkinson 病の病態



- 淡蒼球-線条体系の GABA ニューロンの活動は黒質のドパミン性神経によって抑制されている。しかし Parkinson 病における黒質障害では GABA ニューロンの抑制は外れるので、その結果、GABA ニューロンは興奮状態となり、運動は過度に抑制されて円滑な随意運動ができなくなってしまう。

的を射た Point 解説とユニークで印象的なイラストの組合せにより、難しい知識の習得が容易になっています。

図 53 Parkinson 病の三大徴候と診断

-
- 固縮**
 - 筋トーンが增強し、**歯車様固縮¹⁾**と**鉛管状固縮²⁾**が代表的。
 - 1) 歯車のようにギコギコとしか動かせない。
 - 2) 屈曲運動の開始がなかなかできない。
 - 振戦**
 - **安静時振戦**が特徴で、**pill-rolling tremor**が代表的。
 - 無動**
 - 麻痺がないのに随意運動に時間がかかるのを「**無動**」という。
 - 顔面の表情が乏しくなる**仮面様顔貌**と、一歩が踏み出すことができない**すくみ現象**、歩きはじめると前のめりに止まらなくなる**突進現象**が代表的である。

診断

特徴的臨床症候+症候性パーキンソニズムの除外

(脳血管障害性・薬剤性・中毒性・脳炎後パーキンソニズム)

□□ 165 Parkinson 病について誤っているのはどれか。



- A 主たる病変部位は黒質である。 B 方向転換が困難になる。
C 起立性低血圧がみられる。 D 症状は左右対称に出現する。
E 小字症が認められる。

□ 解法ガイド

Parkinson 病は、安静時振戦、筋固縮、無動、姿勢反射障害を特徴とする疾患である。安静時振戦は、体を安静にしたときにのみ振戦が出現し、姿勢時には減少する。筋固縮は、歯車様固縮、鉛管様固縮が認められる。無動は動きが極端に少ないことで、顔面の表情も乏しくなり、仮面様顔貌となる。姿勢は前屈姿勢となり、方向転換が困難となる。歩行障害では、1歩目が出にくい「すくみ足」、1歩出ると加速しながら歩く「突進歩行」、歩幅が狭い「小刻み歩行」がみられる。

□ 選択肢考察

- A 黒質のドパミン作動性神経の変性脱落が原因である。(○)
B 姿勢制御・調節が障害され、方向転換が困難になる。(○)
C 自律神経症状も現れ、起立性低血圧や便秘がみられる。(○)
D 症状は一側の上肢にみられ、次に同側の下肢、対側の上肢、対側の下肢と順序立った進行をする。一般的に、左右対称に出現することはない。(×)
E 書字では、小字症が認められる。反対に小脳失調では大字症がみられる。(○)

解答：D

CD-ROM に収録した問題は、問題番号のすぐ下に CD マークを入れてあります。
CD-ROM には 180 問を収録しました。

□□ 166 Parkinson 病について正しいのはどれか。



- A 薬物療法としてドパミンの投与が行われる。
B 筋固縮のため腱反射は亢進する。
C 振戦は運動によって増悪する。
D 初発年齢は 70 歳代が多い。
E 抑うつ傾向がみられる。

□ 解法ガイド

Parkinson 病の治療には L-ドパの経口投与が行われる。Parkinson 病では線条体におけるドパミン量が低下しているため、それを補充することが治療につながる。ただし、ドパミンは血液脳関門を通過しないので、その前駆物質である L-ドパが投与される。投与された L-ドパは脳に入る前に末梢組織にてドパミンに変換されてしまうため、十分量が脳に送られるためには大量の L-ドパを服用しなくてはならない。そこで末梢組織におけるドパミンへの変換酵素(ドパ脱炭酸酵素)を阻害する薬(カルビドパ、ベンセラジド)と一緒に服薬することによって、少量の L-ドパの服薬で済むようになっている。

□ 選択肢考察

- A 薬物療法として L-ドパの投与が行われる。(×)
B 錐体路障害はなく、腱反射は亢進しない。(×)
C 振戦は安静時にみられ、運動によって減弱する。(×)
D 初発年齢は 50 歳代が多い。(×)
E 精神症状として、抑うつ傾向、思考緩慢がみられる。(○)

解答：E